

## 7 参考資料(モエンの補修方法)

### 7) クラックの補修

※下地や躯体の動きを考慮したパテ補修を行う場合は、弾性パテを使用してください。

(推奨パテ:オートンアドハー3500 オート化学工業㈱製)

#### ①V溝の加工

●カッターナイフなどで斜めにカットしてV溝に加工します。

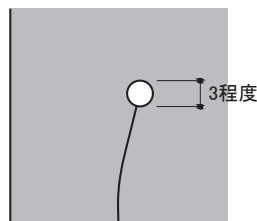
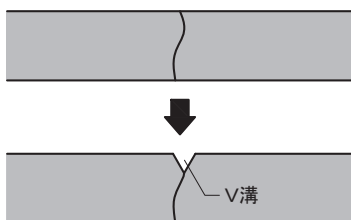
V溝の幅 : 3~7mm程度

V溝の深さ : 3~7mm程度

※必要に応じてクラック先端に貫通孔をあけます。

1) ひび割れの先端を見つける。

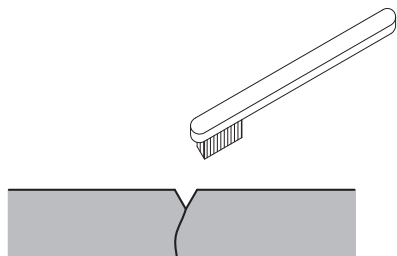
2) 先端にφ3mm程度の貫通孔をドリルであける。



#### ②V溝の清掃

●ナイロンブラシなどでV溝のカット面を清掃します。

※必要に応じてマスキングテープで養生してください。



#### ③パテの充填

●V溝(先端に孔をあけた場合は孔も)に補修用パテを隙間なく充填します。

※パテがはみ出した場合は除去してください。

※シーリングによる補修処理は行わないでください。

シーリングの劣化により白化したり、汚れが付着して目立つおそれがあります。

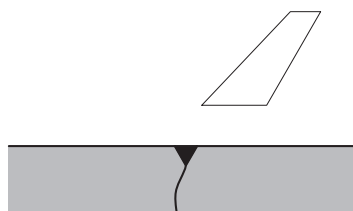
※ニチハ純正パテ(FC5000)は、弾性ではありません。



#### ④表面仕上げ

●ヘラなどを用いて、表面柄にそって補修成形してください。

●マスキングテープを貼った場合は、ゆっくりと取り除きます。



#### ⑤補修液による補修塗装

●補修用パテが硬化後、補修液を塗布してください。

※補修液は、色が均一になるまで十分に攪拌後、使用します。

